



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 フィリピン共和国・カオハガン島

期間 2009年11月21日～11月26日

参加メンバー（歯科医 D、衛生士 H、助手 A、ボランティア V）

上段左から

森千代美 H、上崎秀美 D、柿木幹司 V、藤田智昭 V、芳川栄治 D

下段左から

垣内万智子 H、谷加奈子 H、平田敏彦 D、岡部優美 A、



活動内容

11月21日（土曜日）

予定より1時間ほど遅れ19:30頃にカオハガン島到着。

夕食後ミーティング。役割分担、診療時間、カルテの確認。

11月22日（日曜日）

9:30より診療準備行う。10:00過ぎから診療開始。時間の経過とともに患者の列が増えていった。初日より多数歯にわたる抜歯が多い。

今回は技工士が参加していないにもかかわらず義歯希望がやはり数名いた。Dr.平田が体調崩したものの午後より診療に復帰する。

診査終了した治療待ちの列が教会内にあふれていた。夕食後のミーティングで、この状況では事故につながる可能性があるということで、翌日より椅子を外に並べ待ってもらうことにした。



11月23日（月曜日）

午前には DH 森、DH 谷が小学校の口腔衛生指導を行う。様々な食物が歯に与える影響を絵を使い、子どもに理解させた。その後、染め出しブラッシング指導を行う。

午後からは DH 森、DA 岡部、DR 芳川で学校検診を実施する。

その後、治療が必要な子どもをすぐに教会へ移動させ優先的に治療する。検診時、低学年のクラスの欠席が多く翌日に呼んで行うことに。(虫歯の多い子どもほど欠席が特に多かった) また、どうしても義歯の希望者が予定より多く、印象は DH 森が行う。

ガーゼ、グローブの在庫がわずかになり、使用に注意することとなった。



11月24日（火曜日）

朝から大雨。日本での業務の関係で、DH 垣内は 6:00 頃に島を離れ帰国の途につく。前日時間がなく診療できなかつた人、小学生の検診を欠席した子ども達を優先に行う。DH が 1 人減った状況にもかかわらず、本日になりスケーリング希望者が急増する。雨で教会内まで水浸しになり、その影響でエンジン・スケーラーのフットペダルが故障してしまう。夕食後、小学校にて寄贈されたスクリーン・プロジェクターを用い映画鑑賞会を行う。夜遅い終了時間にも関わらず、多くの子どもが早い時間から集まり楽しんでいる様子が窺えた。劇中でキスシーンがあったが、みんなの「キャー！」という声と、子ども達が手で目を覆う様子を見て自分達の子どもの頃を思わず思い出してしまった。

11月25日（水曜日）

午前の診療は 11:00 までとし、その後在庫確認を約 1 時間で行う。昼食後、在庫についての問題点確認、運動会についてミーティングを行う。2 時間ほどの自由時間の後、運動会準備開始。天候もようやく回復し 3:30 からリレー、あめ食い競争、目回し競争、台風の目、玉入れ、綱引きを島民の子ども男女対抗と、島の大人達を男女に分け、そこに JDM メンバーが参加し大いに盛り上がる。参加賞は、歯ブラシにし、配布後、集合写真撮影を行う。





11月26日（木曜日）

5:30頃カオハガン島を出発する。

帰路では、航空機の遅れはなく、関空到着予定時刻より早めに到着する。集合写真撮影後、解散したが、少し遅れて沢田代表が出迎えに来てありがたかった。

チームリーダーの報告 by 平田敏彦

今回の大きな変化として、カオハガン島のオーグスティーナとバージニアが保健師の資格を取り、島に定住している。崎山氏の希望としては、彼女達が今後のカオハガン島において島民の健康面全般で活躍してくれることを期待していた。彼女達は、成績も優秀で、今回のJDMの活動の中でも与えられた業務の理解度も高く、仕事に対しても非常に熱心であった。もし、実現するならば日本において短期間でも歯科に関する実践の研修ができれば、今後JDMの活動の中でかなりの戦力になるし、現地での予防活動についての効果を期待できる。これは崎山氏のみならず、今回参加したJDMのメンバーの総意でもあった。



また、今回は歯科技工士の参加がなかったため、義歯希望者は現地で印象だけ行い、模型を持ち帰り、義歯は日本で作成することとなった。次回、簡単なケースは完成して装着を予定することにし、困難なケースは咬合採得から現地で行うということにした。時間はかかるが、全てを先延ばしにするよりは、今回のように段階的な手立てを採ることも活動の中での選択肢の一つではないかと感じた。

現地到着が土曜日だったので、小学校の先生との協議が月曜日の朝になった。現在赴任している先生は私達の活動への理解が深く、検診や治療勧告などにもかなり協力を得ることができた。

今後、現地在住の保健師2名との連携が上手くいけば、JDMが目指す”現地の人による継続的な予防と管理”を一日も早く実現できると確信した。

雨半分、曇り半分、ちょっぴりだけ晴れと、天気にはあまり恵まれなかったものの、DVDの上映会や運動会も事故なく開催することができ、最後の夜は子ども達による送別会にメンバー全員が感動して島を後にした。

参加してくれたメンバーがそれぞれの力量を発揮し、スムーズな活動と円滑な運営にメンバーが一丸となり貢献してくれたおかげで最高に評価できる結果を実現できたものと感謝する。

データ

治療結果

	22日	23日	24日	25日	学校検診 23日	学校検診 24日	合計数
総受診者数	51	34	51	14	59	5	214
充填(セメント、CR)	16	9	17	1	11	1	55
抜歯	30	21	27	9	22	3	112
歯石除去	4	2	8	3	2	1	20
義歯調整	1	1	0	1			3
DE 印象	6	1	2	1			10
DE 修理	1	2	1	1			5
DE BT	0	1	0	0			1
check up のみ	1	2	1	0	29	2	35
カオハガン以外の受診者	31	14	26	0			71